



竹の成長 人間の成長

～夏休みを迎えるに当たって～

校長 山本平生



雪解けが進み、大地が白から若緑に色を変える頃、竹林にはたけのこが顔を出します。愛らしい姿が春の訪れを告げ、食卓にも季節の味覚を届けてくれます。けれども、夏になるとそのたけのこは青々とした竹へと姿を変えています。では、この竹は、1日に一体どれくらい伸びるのでしょうか？10cmくらいでしょうか。実は、100cm以上も伸びることがあるのです。林野庁の公式記録によると、国内における1日(24時間)の最長成長記録はマダケで121cm、モウソウチクで119cmとされています。1日で1m以上伸びるとは、驚きです。

竹が、これほど速く伸びるのは、竹の持つ二つの特徴によるものです。普通の樹木は先端の1カ所(成長点)しか伸びません。しかし、竹は全ての節に成長点を持っていて、節ごとに一斉に伸びるという特徴があるのです。そのため、アコーディオンを引き延ばすように、驚くほどの速さで一気に成長するのです。さらに、竹林の地下には「地下茎(ちかけい)」と呼ばれる根っこが張り巡らされています。この地下茎で親竹とつながり、十分な栄養を受け取っているため、自分で葉を広げ光合成をするまでもなく、一気に大きくなれるのです。



本日(7/29)をもって、76日間の1学期が終了しました。

1年生は入学式からの4か月で中学校生活にすっかり慣れ、制服も体に馴染み、立派な十中生になりました。2年生は、3年生が引退した部活動では主力となってチームを引っ張り、学校の中心として歩み始めています。3年生は、いよいよ自分の進路について考える時期を迎えると同時に、秋の体育祭に向けて準備を進めています。学校のリーダーとして充実した毎日を送ってきました。

保護者の皆様におかれましては1学期の十日町中学校の教育活動にご理解ご協力いただいたことに、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

待ちに待った夏休みを迎えます。それぞれの学年、教科等からの課題も出ています。各家庭や地域の楽しい予定も計画されていることでしょう。見通しをもちながら、時間を上手に使って有意義な夏休みにしてほしいと切に願っています。約1か月という長い間、基本的には学校を離れ家庭で過ごす時間があります。学校生活だけでは得られない経験をしてほしいと思います。

終業式で話した「プラスワンのチャレンジと貢献」をぜひ実現してほしいと思っています。竹が1日で1m以上も成長するように、人間も短期間に信じられないくらい大きく成長することがあります。そのきっかけとなる夏休みになるといいなと思います。そのためには、様々なことにチャレンジしたり、いろいろなことを考えながら「他者に貢献する行動」をしたりすることも大切です。その経験は、一つ一つの「成長点」になり得るからです。

竹は地下茎で親竹とつながり、見えないところで支えられています。子どもたちも同じです。家族の励ましや、地域の皆様からの温かい声掛けは、目には見えなくても子どもたちの挑戦を支える大きな力になります。

竹が節ごとに持つ「成長点」と同様に、子どもたちにも一人一人に「成長点」があります。新しいことに挑戦した経験、誰かのために行動した経験、失敗から立ち上がった経験。その一つ一つが、未来へ伸び続ける「成長点」になります。この夏休みが、一人一人にとって新たな「成長点」を育む時間になることを願っています。

ひと回り大きくなった皆さんと、2学期に再会できることを楽しみにしています。

3年生上級学校訪問

7月14日(火)、3年生が上級学校訪問に行ってきました。

午前には新潟医療福祉大学を訪問し、大学の施設を見学したり、模擬授業を受けたりしました。生徒は、施設の規模の大きさや医療系・福祉系の職種の多様さに驚いていました。

午後は生徒一人一人の興味・関心に応じて、12校の専門学校に分かれて訪問しました。それぞれの専門学校では、充実した学習環境の中で専門性を身に付けるカリキュラムの説明を受けたり、実際に授業内容を体験したりしました。どの専門学校も興味深い内容で、意欲的に学習に取り組む3年生の姿が見られました。生徒は、今回の訪問を通して将来に対するイメージをもつことができました。



2年生職場体験学習

7月23日(木)、24日(金)の2日間、2年生が職場体験学習に行ってきました。市内22カ所の事業所より協力をいただき社会の中で働くことを体験させてもらいました。

「十日町地域消防本部」で体験した生徒は、地上25mまで伸びるハシゴ車に乗せていただいたり、高所の壁をロープを使って下りたりと様々な仕事をさせていただき、学校ではできないとても貴重な体験となりました。今回の体験を経て、職業への理解を深め将来の進路選択に生かしてほしいと思います。



PTA執行部主催「情報リテラシー講座」

7月28日(火)の5・6限に、生徒と保護者がSNS等の利用の仕方を振り返り、機器やテクノロジーの適切な使用法について学ぶ機会として、PTA主催の情報リテラシー講座を開催しました。講師に、一般財団法人インターネット協会 主任研究員 大久保 真紀 様をお招きし、「デジタル ウェルビーイングしてる？」と題して、みんなが幸せになるSNSの使い方について、事例をもとに講演していただきました。生徒は、事前に毎日の利用状況を記録し、講演を聞いたり仲間と話し合ったりして、自身の使い方を振り返っている様子がみられました。大久保様から、「無意識や反射で、頭より指が先に動いていませんか。」「スマホに使用されていませんか。コントロールできていますか。」と問いかけられ、ハッとする姿も多くありました。

SNSに関する深刻なニュースを例に、いつの間にか自分が加害者や被害者になってしまうかもしれない危険性があることを改めて学ぶ機会となりました。

今後も家庭内でSNSの利用についてしっかりとルールを決め、正しく使うことができるよう、ご理解とご協力をお願いします。



活躍する十中生

【通信陸上大会】

共通男子走高跳 8位 3年男子
1年男子 100m 4位 1年男子
以上、2名が入賞

☆陸上競技部
男子走高跳
4位 3年男子 入賞



【県総体】

☆ソフトテニス部 (UC☆U15)

○男子団体戦

1回戦 UC☆U15 3-0 小須戸 STC 勝利
2回戦 UC☆U15 2-1 柏崎 STORM 勝利
準々決勝 UC☆U15 1-2 N.N 惜敗
代表決定戦 UC☆U15 2-1 LOOP 勝利

※十中3年ペアが3セット目勝利！

→北信越大会出場決定！

☆卓球部

2回戦

2年男子 0-3 黒崎中 惜敗



○女子団体戦

1回戦 UC☆15 1-2 SSS 惜敗
※十中3年女子・南中生徒が善戦



☆水泳

2年女子 (十日町 TSC)

個人メドレー200m 5位

フリーリレー4×100m 6位

【中越地区吹奏楽コンクール】

中学生Bの部 I

銀賞 十日町中学校・水沢中学校・中里中学校

※十中3年女子2名が活躍